

「信州型コミュニティスクール促進事業」について

Q1	信州型コミュニティスクールとは
A1	地域住民や保護者が、学校運営への参画と地域と学校の協働活動、学校関係者評価を一体的に行う長野県独自の仕組みを備えた学校のことを言います。
Q2	信州型コミュニティスクールの目指すもの
A2	学校・家庭・地域が対等な関係のもと、地域住民や保護者による持続的な学校運営への参画や協働活動が行われることにより、子どもたちの豊かな学びや成長を支える、「地域と共にある学校づくり」を推進します。
Q3	何が「信州型」なのか
A3	地域住民や保護者が、学校運営参画・協働活動・学校関係者評価を一体的に行う仕組みであり、国が進める学校運営の仕組みであるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と、協働活動を中心とする地域学校協働本部の利点を組み合わせたものです。
Q4	信州型コミュニティスクールの良さとは
A4	学校運営参画と協働活動、学校関係者評価を一体的に行うことは、学校との協働活動を通じて学校や子どもたちのことをよく理解している地域の方と、育てたい子ども像を共有した上で、学校運営について意見を出してもらったり、学校関係者評価をしてもらったりすることになり、学校改善がより進むことにつながります。そうした意見や評価を踏まえて地域住民の皆さんが活動することになるので学校と地域が連携・協働した活動がさらに充実することになり、3つの機能の相乗効果が生まれていきます。 また、学校と地域住民との対等な立場での信頼関係がさらに深まっていきます。
Q5	信州型コミュニティスクールとコミュニティ・スクールの違いは
A5	信州型コミュニティスクールでは学校運営委員会設置し、委員は学校長が任命することになります。なお、学校運営委員会は任意の組織のため、法的な権限を持ちません。 国が進めるコミュニティ・スクールは、市町村教育委員会が規則を定めて、法に基づく学校運営協議会を設置し、学校運営についての意見や承認、人事にかかわる意見等の権限が与えられています。委員については教育委員会が特別職の公務員として任命することになっており、報酬を支払わなければなりません。 信州型コミュニティスクールも国が進めているコミュニティ・スクールも学校職員と地域住民や保護者が協働する「地域と共にある学校づくり」を目指すための仕組みであり、長野県としては、国が進めるコミュニティ・スクールも広い意味で信州型コミュニティスクールの1タイプと捉えています。

Q6	コーディネーターに期待する役割は
A6	<p>学校からの要望を受けて、ボランティアを探したり、調整したりするのはもちろんだが、単に学校支援のみの役割ではなく、地域の要望と学校の要望をマッチングさせながら様々な協働活動を提案していきましょう。</p> <p>また、「子どもたちのために学校をよくしたい」「学校を核とした地域づくりをしたい」などの気運を盛り上げる広報・啓発活動にも取り組んでいただきたいと思います。</p>

Q7	学校運営参画とは具体的にどのようなことか
A7	<p>学校職員と地域住民がお互い対等な立場で、学校の目標や抱える課題、地域における子どもの様子について話し合うことを通して、地域の将来を見据えた「育てたい子ども像」の共通理解を深める機会を年間複数回持つことが望ましいです。</p>

Q8	学習支援をする方もいるが、子どもの個人情報を守られるのか
A8	<p>学校の実情に応じて、事前に注意事項として、個人情報の取扱いについて説明し、承諾してもらう必要があります。ボランティア規則を設け、ボランティアルームの見えるところやボランティア名札カードの裏側に記載して常にわかるようにしている学校があります。こうした規則を周知するには、各ボランティアやその代表が集まるような場をつくり、子どもたちの様子について情報交換するとともに規則について確認し合うことが望ましいです。</p> <p>県としては、ボランティアを対象とした研修会を実施していますので多くの方に活用していただきたい。</p>

Q9	市町村教育委員会の役割は
A9	<p>コーディネーターの配置、運営委員会の設置、運営状況の評価や検証、ボランティアの募集・登録、地域への啓発等、実施運営の中心として学校の支援をしていただきたいと思います。</p> <p>県としては、学校運営協議会制度を導入し成果を挙げている事例や、市町村オリジナルの仕組みを構築して取り組んでいる事例など「地域と共にある学校づくり」を推進する上で参考となる情報を提供していきます。</p>